



板東俘虜収容所開所 101周年記念コンサート 蘇る和洋大音楽会



第一次大戦のドイツ兵俘虜の収容所は四国では当初、松山、丸亀、徳島の3か所に設置されていました。これらが板東俘虜収容所に統合移転したのが1917年4月のことでした。板東俘虜収容所ではドイツ兵たちによってさまざまな文化活動が行われていました。中でも盛んだったのは音楽活動であり、1918年にはアジアで初めて、ベートーヴェン「交響曲第九番」の全楽章演奏に成功するという歴史的な演奏会が行われています。もうひとつ、忘れてはならない演奏会があります。それは第九演奏会と同じ1918年、徳島公演内千秋閣にて開催された「和洋大音楽会」です。地域住民による箏や尺八の楽団と、板東俘虜収容所のドイツ兵によるオーケストラが、三部構成の演奏会を成功させました。これは、音楽を通じた日独交流が当時からあったことが窺い知れる貴重な演奏会です。開催から100年を迎える2018年、音楽により実現した日独の友好、和洋大音楽祭が、時を経てドイツ館に蘇ります。

—プログラム—

第1部 邦楽演奏 徳島邦楽集団

都山流本曲「平和の山河」／中尾都山
古曲「千鳥の曲」／吉沢桜校
現代曲「小組曲（星の祭り、月の出、なぎさと太陽）」／三木稔

第2部 日本舞踊 音羽菊公社中

江戸の祭り

第3部 洋楽演奏 徳島エンジェル楽団

ドナウ川のさざなみ／イヴァン・ヴィチ
宵待草／詞：竹久夢二・曲：多忠亮（独唱 岡村由香）
友愛の花／詞：高橋敏夫・曲：新川清
歓喜の歌／詞：シラー・曲：ベートーヴェン

出演



指揮：岡山茂幸



ソプラノ：岡村由香



日本舞踊：音羽菊公



司会：安倍久恵

演奏：徳島エンジェル楽団・徳島邦楽集団
合唱：NPO法人 鳴門「第九」を歌う会
日本舞踊：音羽菊公中

2018年 4月 8日【日】 開演 14:00（開場 13:30） 鳴門市ドイツ館 1階大ホール
大人 500円 小中学生 150円 鳴門市ドイツ館・鳴門市賀川豊彦記念館 共通入館料として 定員 250名

チケットについて

【販売所】・鳴門市ドイツ館 1階インフォメーション ・鳴門市うずしお観光協会（鳴門市撫養町南浜字東浜 165-10）
【お問い合わせ】TEL 鳴門市ドイツ館 088-689-0099（鳴門市ドイツ館） ※鳴門市ドイツ館は3月26日（月）は休館日です。

鳴門市ドイツ館 活性化事業【主催】鳴門市ドイツ館 指定管理者 一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会 徳島大学ドイツ兵俘虜研究会
【協力】NPO法人 鳴門「第九」を歌う会 徳島エンジェル楽団 / 徳島エンジェル合唱団 徳島邦楽集団
【後援】四国放送(株) 徳島新聞社 朝日新聞徳島総局 エフエムびざん (株)テレビ鳴門 読売新聞徳島支局
【お問い合わせ】鳴門市ドイツ館 〒779-0225 徳島県鳴門市大麻町松野山田 55-2 TEL/FAX 088-689-0099/088-689-0909